

2008年3月21日

1. これまでの経過

◎2007年まで

- 2002年から学友会を中心に、学生会館の建て替え・大幅改修を求める取り組みが開始される。
- 2005年末に『学生会館の将来像』がまとめられ、大幅改修を学生側から求めていくことで合意。(2006年、2007年の『学園』新歓号に掲載し、全学生に配布。)
- その後、大幅改修の可能性を探るために、学生会館の耐震度調査を求めたが、実現せず。
- 学部当局が図面のみでの耐震調査を行ったところ、耐震補強を行うべきとの結論が出される。

◎2008年以降

2008年1月16日

学生会館委員会に、学生会館改修の予算化の可能性が伝えられる。

2008年2月6日

政府補正予算が成立。学生会館の耐震改修の予算が盛り込まれる。

2008年2月22日

教養学部当局から学生側への公式説明。

2008年2月29日

第1回学生会館改修問題対策会議

2008年3月3日

第1回ワーキンググループ

2008年3月11日

第2回学生会館改修問題対策会議

2008年3月13日

第2回ワーキンググループ。改修問題のブログを設置、ワーキンググループの速報とこれまでの対策会議のレジュメを公開。

2008年3月17日

ブログにて、改修後の間取り・部屋割り原案公開。

2. 学館の改修プランについて

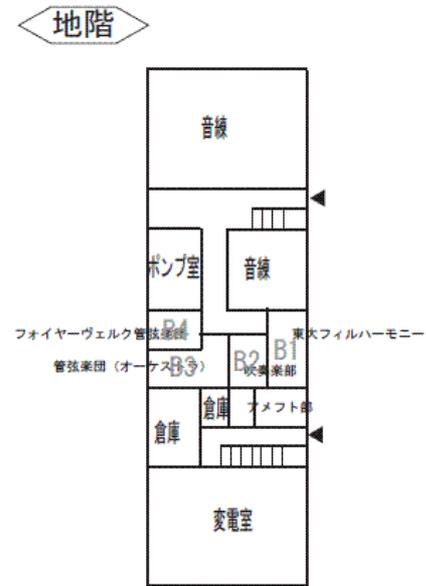
2. 1 改修後の間取り・部屋割り原案の説明

(ブログ記事から追加したところには下線を引いています)

■基本的な考え

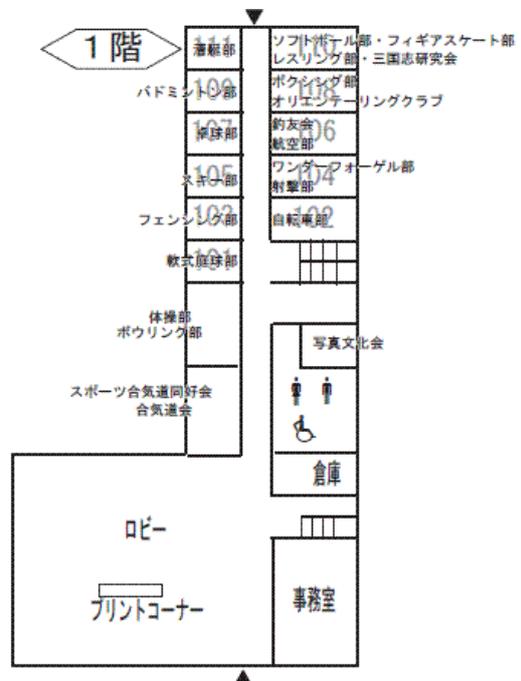
地階について

- ・ 現在、地階西側には音楽練習室とロッカー室が配置されているために、音楽練習室にほこりが入り込みやすくなっている。また、音楽練習室は慢性的に不足している。
- ・ これらの問題を解決するために、地下ロッカーの部室は分散させ、地階西側に音楽練習室と音楽サークルの部室を集中させるような配置変更を行う。
- ・ 地階の廊下には、音楽形サークル向けのサークルロッカーを設置する。
- ・ 地階の間取りについては、音楽系のサークルで集まって部屋割りの最終案を作ってもらいたい。



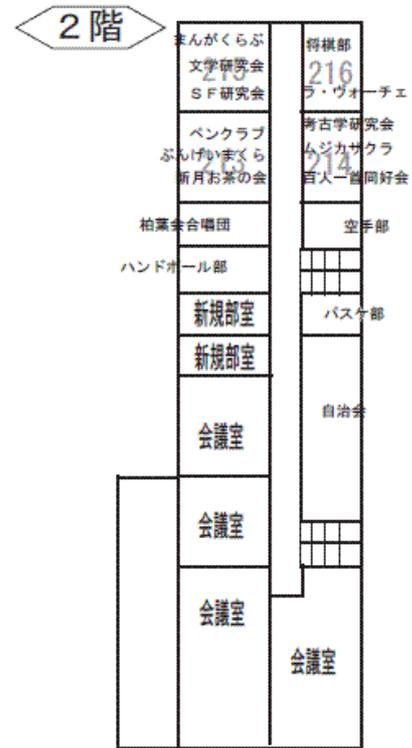
1階について

- ・ 自動販売機コーナーと入り口の扉の間のスペースをなくす代わりに、ロビー西側のラウンジスペースを部室にする。その部室には、地下ロッカーを使っていたサークルの一部を移動する。
- ・ 上下水の配管を減らし、下水のつまりなどを解消するために、学館のトイレは1階以外すべて廃止する。また、1階のトイレ前のレリーフが彫られた壁は撤去し、トイレ周辺の見直しを行う。また、水場が一箇所に移動することに伴い、排水施設がある暗室を1階に設置し、写真文化会の部室はそこへ移動する。



2階について

- 2階ロビーは会議室に改装する。また、次のような間仕切りに変更。
- その結果として、約70平米の会議室が2つ、36平米の会議室が2つとなる。(現状では、約70平米の会議室が1つ、36平米の会議室が1つ、24平米の会議室が2つ、18平米の会議室が1つ)
 - 201A/B、203と207を入れ替える。(201Aの部室を移動して、会議室をまとめるため)
 - 2階ロビーは、そのままの大きさで会議室に変更。
 - 211は半分に割り、フィルハーモニー管弦楽団は18平米の大きさの地下の部室に移動。
 - 202、204およびその前の廊下をつなげて、現在の207とほぼ同じ大きさの会議室とする。(実現できなかった場合は、202、204をそのまま残す。)
 - 18平米の部屋が4つできるが、これは部室に変更。そこに地下ロッカーを使っていたサークルの一部を移動する。
- 一番東側の会議室については、大きい部屋二つをつなげられるようにする案もある。部屋数の確保や部屋間の防音の問題ではしっかり分けた方が有利だが、つなげられると大規模な合奏や公演が行えるメリットがある。
- 会議室の壁は、5号館のような曇りガラスの壁にし、採光性を確保する。

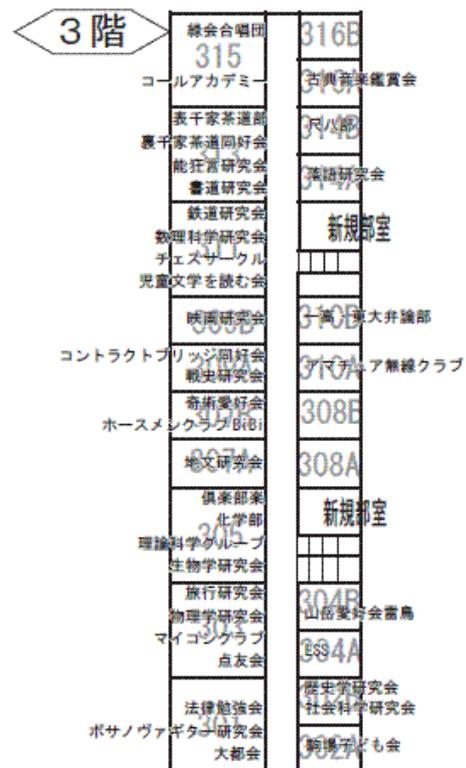


3階について

3階は基本的に部屋割りに変更なし。

参考：フロアごとの部屋配置について

以下のようにエリアごとに部屋をまとめることで、サークル間での利害の対立が生じにくいようにして



います。一般部室については、活動の類似性からさらに区分けできる可能性もありますが、部室の移動に伴う煩雑さを避けるために大きな変更は行いませんでした。

地階：音楽系

1階部室：屋外運動系中心

2階東側：会議室、自治会室

2階西側、3階：一般部室

■この案のメリット・デメリット

◎メリット

- ・ 新たに部室として使える面積が増える。増えた部室は、新規割り振りに加え、現在部室を持っているサークルを移動し、余裕を持って活動できるようにすることを考えている。
- ・ 音楽練習室として使える面積がかなり増え、音楽練習サークルには大きなメリットとなるはず。また廊下での音楽練習の問題をある程度解消することが見込まれる。地下音練の埃問題は解決し、きれいな状態を維持できるようになる。

◎デメリット

- ・ ロビーは、若干（10～20平米程度）縮小する。
- ・ 音楽練習場所を地階にまとめるにあたって、音楽サークルおよび地下ロッカーの部室の移動が必要。

2. 2 間取り・部屋割り原案の検討

■原案の作成に当たって

第2回対策会議でのアンケートに加えて、これまで学生会館委員会、学友会学生理事会に寄せられた意見、学生会館運営委員会の使用状況をもとに原案を作成しました。

会議室は、今の201Bに当たる18平米の部屋がなくなった代わりに、207相当の部屋が増えた結果になっていますが、これは会議室の予約の際にもっとも早く埋まるのが207で、逆に201Bは会議にはあまり使われていないという使用状態を踏まえた変更です。18平米の会議室を残したいという強い意見があれば、新規部室としている2階の部屋の1つを会議室に割り当てつもりでいます。

音楽練習スペースの地階への移動は、埃の問題に加えて廊下での音楽練習に関する対立を解消する目的もあります。現状では、問題が起こるたびに、申し合わせを結び直すことで対応しており、最近ではあまり問題を聞かなくなりましたが、長期的には必要な措置だと考えています。

改修後の間取りに関するアンケート項目の集計結果はレジュメの最後に掲載したので参考にしてください。

■議論の論点

○全体のゾーン分け、ロビーについて、会議室について

○1, 2, 3階の部室について

○地階の部室、音楽練習室について

2. 3 機能改修について

■これまでに出了された機能改修について

- ・雨漏りの修理について
→確実に実現されるようにする。

- ・トイレの整備について
→トイレは、1階に集中する。2, 3階のトイレは使用率が低かったため、老朽化が早く進んだ面がある。また、できるだけ配管を簡単にした方が予算面でも有利でメンテナンスは楽になる。学生会館のトイレは、休み時間に利用が集中する教室棟のトイレと違って利用がまばらなため数を減らすことは可能との見込み。

- ・冷暖房設備／窓の二重サッシ化について
→基本的には全部屋に冷暖房を導入し、二重サッシを入れることを要求する。ただし、予算の都合で部屋ごとの優先順位をつけざるを得ない場合は、①音楽練習室、②会議室、③サークル活動の上で冷暖房設備の重要性が高いサークルの部室、事務室、自治会室、④ロビー、⑤その他の部屋という優先順位をつけて交渉を行う。

- ・インターネットの回線について
→アンケートでは、少数からしか意見がなかったが、比較的 low コストでできると見込めるので電気配線と平行して ECCS に接続可能な LAN を配備するように求める。

- ・エレベータ
→荷物の移動のために、エレベータを求める意見があった。部室の数を減らさないまま、

設置可能な場所があれば検討したい。

■機能改修の展望について

現実的には冷暖房、エレベータ以外は、耐震補強に伴い容実現可能だと思われる。冷暖房については、その必要性を挙げて交渉に望む必要があるだろう。実現の可能性は、交渉次第。

2. 4 各部屋の設備について

■「部室使用申請および設備希望書」提出のお願い

各部屋に設置する設備については、まだ検討する時間があります。ただし、「流し」などのように全体の施設に関わるものについての要望は、24日までに出す必要があります。

部室の具体的な施設については、毎年学友会に提出する部室使用申請書を拡張した「部室使用申請および設備希望書」で希望を募ります。学館の部室の継続使用を希望するサークル、新規に部室を申請するサークル、部室の拡大を希望するサークルは、本日配布している「部室使用申請および設備希望書」に具体的な希望を書いて、学友会まで提出してください。(キャンプラの部室の継続希望を出す場合は通常の「部室使用申請書」を提出してください)

全体の締め切りは、2008年4月11日としますが、全体に関わる要望がある場合は3月23日までに提出してください。また3月27日までに提出された申請書は、間仕切りに反映できる可能性があるため、間仕切りについて追加で意見がある場合はそれまでに提出してください。全体の締め切りに遅れた場合は、部室の使用継続ができなくなるので注意してください。

■「部室使用申請および設備希望書」の記入方法について

「部室使用申請および設備希望書」には以下の項目を明記して、できるだけ細かく具体的に希望を書くようにしてください。用紙が足りない場合は、B5用紙に記入したものを添付してもらってかまいません。

・現在の活動状況と改修後の部室の希望

部室を持っているサークルは、現在の部室の使用状況と、改修後の部室に必要なものを記入してください。相部屋希望のサークルは、一緒になりたいサークルの名前とともに、どのように部屋を分けて使うかも記入して下さい。新規割り振りを希望するサークルは、個室・相部屋の希望や申請理由を中心に、現在の活動場所なども説明して下さい。

裏面の作図欄には、改修後の部室のコンセントの位置、蛍光灯のスイッチの位置、窓の位置なども含めて、できるだけ詳しく記入をお願いします。また、部室の拡大、移動を望む場合はどのような理由で拡大が必要かを表面に明記し、現状の部室のままの場合の図と、拡大した場合のイメージ図を裏面に記入してください。

- ・部室に必要な設備（例：「流し」、200Vのコンセントなど）

サークルの必要上、どうしても部室に必要なものがある場合は理由とともにそれを明記してください。書かれていない場合は、要望に応じられません。

- ・電気容量について

必要な電気容量を明記してください。できるだけ使用機器も明確にしてください。一部屋あたり、15A程度までは希望に応じられる可能性が高いと思いますが、それ以上のものを希望するサークルは必要な理由を詳しく書いてください。

3. 改修中の代替場所について

■現状と担当者の公募について

旧生協食堂を使った代替施設の部屋割りなどについても、4月中に決定することが求められている。こちらでも、部室と同様に電気容量などの設備の問題を検討する必要があるし、貴重品を置いておく場所をどのぐらい確保すべきかという問題も残っている。

ただ現在のスタッフは、年度更新に伴う業務、改修後の学館の設計や運営の維持についての業務などで手一杯の状態、現状のままでは、代替施設についてはサークルの意見を十分に踏まえた割り振りを行う余裕はない。そこで、代替施設の割り振り原案を作成してくれる学生を2、3名公募したい。

代替施設については、ほぼまっさらな状態で施設が与えられるので、その条件を踏まえた原案を作ることができるかどうかという点が、部室として使える面積や利便性を決める。われこそは思う方は学友会もしくは学生会館委員会まで。業務に対しては、学友会から時給800円以上の活動保障費も支給される予定。

■貴重品および大型の備品の移動について

代替施設の具体的な割り振りを決める前の段階で、貴重品を入れておくためのスペースがどれぐらい必要なのか、またピアノのような自分たちでは動かせないものがどれぐらいあるのかということを調べておく必要が出ています。この調査のためのアンケートを配布しているので、学生会館のサークルは、この件についてのアンケートに必ず答えてください。

また、部室や荷物置き場以外に特に必要なものがある場合は、その他の欄に記入してください。

■改修中の運営委員会業務について

改修中は、ゲスプリンターをキャンプラのロビーに移動するなどして、今の学生会館事務室の機能をキャンプラに移転し、代替施設の事務室では鍵の管理のみを行う予定です。

4. 資料 アンケート結果から

■これまでのアンケートに出された意見のうち、共用部屋に関わる部分

3. 2 音楽練習室として優先すべき場所

◎個人練習希望 0

◎グループ練習 10

- 個人練習は部室、廊下でできるため（フォイヤーヴェルグ）
- 個人用のスペースは他にも多い（コール・ユリゼン）
- せめて現状なみ。ただし、個人練習の場も確保してほしい。（音楽部管弦楽団）

3. 3 共用部屋の間取りについて

- 共用部屋の一部屋ずつをもう少し広くしてほしいです。207 程度の広さか、せめてその半分位が増えてほしいです。（ヨット部）
- 207 や第1集会室のようにピアノのある部屋がなければ、合唱の練習ができません。グランドピアノがあり、なおかつ、40 人程度の人が集まれる場所はなかなかないので、それらの部屋のような場所は確保していただきたいです。今でさえ、音楽練習スペースが少ないので、できるなら 207 級の部屋を 1 つか、2 つ増やして頂きたいくらいです。（柏葉会合唱団）
- 207 程度の広さの部屋を 1 つ残してほしい。他の部屋は少々狭くなってもかまわない。（現状の 70%？）（コール・ユリゼン）
- 例にもあるように、207 程度の広さの部屋は残して欲しい。大人数で練習する場所は不足しているので。（ブラスアカデミー）
- 二階ロビーはロビーとして機能していないので部室にわりあてた方がよい。一階ロビーもある程度縮小して部室にした方が、現状として部室が足りないならよいのではないか。（写真文化会）
- 当会としては上記の通り会議にしか使っていないので、現状通り、あるいは部屋数を減らしてもよいと考えている。会議室が増えることで部室のスペースが減ることは避けていただきたい。（鉄道研究会）
- 用途によっていろいろな広さの部屋を用意してもいい。（なかよしさいくる）
- 基本的には現状維持を希望。（部屋数、部屋規模、特に部屋数）、207 程度の広さの部屋は維持してほしい。（吹奏楽部）
- 現状維持（卓球部）
- 現状のままで問題なし（音楽部管弦楽団）